

コマ割漫画風 研究員と学ぼう

おいしいリンゴができるまで

私たちはリンゴ新品種の開発をしています。

今日は新品種が生まれる過程をお話します。

県農業技術センター 中山間地園芸研究センター 星野裕昭さん
同センター 松井郁人さん

リンゴの県育成品種は全て、中山間地園芸研究センターで開発されました。農場は約4・2畝で、リンゴはそのうち1・4畝で栽培されています。



ぐんま名月の掛け合わせ

新品種が登録されるまで約15年。全国的に栽培が広がっている「ぐんま名月」もここで生まれました。

新品種を作り出すためには、人工交配をします。

どのような品種を作りたいかを決めて、交配の親を選びます。

